

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田尻、高瀬
	全体計画						経費区分		-		内線	
事務事業名	9879 災害復旧支援事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	03021300 防災体制の充実											
会計	01 一般会計											
科目	020101 総務費・総務管理費・一般管理費											
事業	090000 災害復旧支援事業											
事業目的						事業概要・効果						
災害復旧・復興するために助け合うことで、被災地に 勇気とやる気を与える。						東日本大震災は、広範囲に甚大な被害を与えた。 災害復旧には長期間を要するため現地における災害復 旧支援のため、義援物資及び職員派遣等に係る経費を 計上。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
塩竈市への職員派遣 ・事務職1名（1年間） 義援物資の発送 塩竈市の仮設住宅が継続されていれば発送予定。	塩竈市への職員派遣 ・事務職1名（1年間）
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	通年で1名の中長期職員派遣				
算式	職員派遣数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	1			
	実績				
指標選定の理由	職員派遣により被災地の復興に寄与しているため				
最終年度目標の根拠	通年で1名の中長期職員派遣				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		1,019	503
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,019	503
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	720.8	720.8
	嘱託職員	270.5	270.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	991.3	991.3
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		2,010.3	1,494.3

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	180	180支援物資
13節 委託費	300	300被災地復興支援事業
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	539	災害派遣職員旅費

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	503	義援物資運搬費、災害派遣職員旅費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	災害時応援派遣協定に基づき、災害復興に向けて職員派遣を行っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	順次完成している市営住宅への入居手続き等を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効率性を求めるものではない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

（派遣について）28年度に大方の市営住宅は完成する予定なので、来年度以降、職員を派遣する必要があるのか見当が必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（縮小）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
職員の人選と期間については苦勞が多いが、何時まで職員を派遣するかなど今後の派遣実施について検討が必要である。		派遣については、受け入れ市との状況を加味して調整を行い、判断をしていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	